

シルバーの日に感謝

人材センターで奉仕作業



作業前には、同センター10周年記念誌用の記念撮影が行われました

毎年10月の第3土曜日は、全国シルバー人材センター事業協会が「シルバーの日」と定めています。市シルバー人



「シルバーの日」に毎年実施している奉仕作業。感謝の気持ちで取り組んでいます

材センター（高橋兵衛理事長）では今年の「シルバーの日」となる10月18日、長沼フーニア公園の清掃作業をボランティアで実施しました。

この日の奉仕作業には会員約230人が参加。公園内の低木の剪定、除草やゴミ清掃などを手分けして行いました。本年度で設立10周年を迎える同センター。高橋理事長は「地域の高齢化が進み、センターへの仕事の依頼は増えています。これからも会員の技能を生かして地域に貢献していきたい」と話していました。

秋のフリマにぎわう

東北最大規模の650店

東北最大規模の販売ブースを誇る「秋のフリーマーケット」が10月19日、迫中江中央公園などを会場に開かれました。佐沼中央商店会の主催で、今年18回目となります。今年は東北各県や首都圏などから約650の個人や商店が、雑貨や骨董品、飲食物のブースを設置。当日は晴天

にも恵まれ、市内外から約4万5千人が訪れました。ステージでは、東北楽天イーグルスチアリーディングスクールが華麗な踊りを披露したほか、総合司会を務めた本市出身の歌手、泉忠伸さんやMie（ミー）さん、綾華さんらのライブも行われ、会場は終始にぎわっていました。



会場内には多くの販売ブースが設置され、掘り出し物を見つけようとする大勢の買い物客でにぎわいました

小島願人踊に大喝采

秋田で開催の国民文化祭

10月4日から11月3日まで、秋田県内の市町村を会場に開催された第29回国民文化祭。10月25、26日には八郎潟町で民俗芸能「願人踊」の祭典が開かれ、中田町浅水小島に伝わる本市指定の無形民俗文化財「小島願人踊」を披露しました。願人踊は、江戸時代に「願人坊」と呼ばれる遊

行僧が広めたとされる五穀豊穡を祈る踊りです。祭典には、小島願人踊のほか秋田や富山、埼玉から7団体が参加しました。保存会事務局の布澤一元さん（小島）は「会場（町民体育館）は立ち見が出るほどの盛況で、踊った後の反響もすごかったです」と感激した様子でした。



「願人踊の祭典」で踊りを披露した小島願人踊保存会の皆さん

コメ、リンゴで大臣賞

県農林産物品評会で評価

平成26年度の県農林産物品評会（県主催）で、本市の千葉利広さん（豊里町加々巻）と猪股剛さん（中田町大泉）が、水稲部門と果樹部門でそれぞれ農林水産大臣賞を受賞しました。品評会には千葉さんが「うるち玄米（ササニシキ）」、後藤リンゴ園（本宮）の猪股さんが「リンゴ（シナ

ノスイート）」を出品。審査では高い栽培技術と品質の良さが評価されました。10月19日に仙台市勾当台公園市民広場で開かれた「みやぎまるごとフェスティバル2014」の席上表彰を受けた2人。「大臣賞は今後の生産の励みになります」と笑顔で喜びを語っていました。

タスキに思い込めて

市駅伝大会に56チーム



汗と思いが染み込んだチームのタスキをつないでいきます（年代混合の部）

市駅伝競走大会が10月26日、中田総合体育館を発着として開かれました。合併5周年を契機に始まった本大会も

5回目となります。今年は5部門に56チームが出場しました。開会式では選手を代表してウイランズ青龍の菅野拓海さんが力強く選手宣誓。選手たちはチームのタスキをつなごうと必死の走りを見せました。



本市の農家2人が発見・登録した米の新品種「沢潤」が、登録後初の収穫をしました。新品種は、豊里町の兼業農家、板倉景介さん（庚申）が平成20年7月頃、圃場で3本の穂だけが早々と色付いているのを発見したことがきっかけです。板倉さんは親類の専業農家、米山町の堀内邦彦さ

ん（貝待井）に相談。2人でも品種登録に取り組み、本年5月に農林水産大臣から種苗法に基づく登録を受けました。新品種の「沢潤」は今年、堀内さんの圃場2haに作付け、約50kgを収穫しました。「沢潤」は「ひとめぼれ」より1ヵ月ほど登熟が早く、「極早生」品種に区分されます。

コメ新品種で初収穫

板倉さんら登録の「沢潤」



スタート地点の中田総合体育館から元気にコースに飛び出していく選手たち

部門ごとの優勝チームは次のとおりです。▼年代混合Ⅱウイランズ青龍▼中学生男子Ⅱ中田中男子A▼中学生女子Ⅱとよさとあんこーず▼一般男子ⅡRUNNER119▼一般女子Ⅱよねやまスポークラブ